

科目ナンバリング		U-LAS25 10003 SJ48							
授業科目名 <英訳>	イタリア語 I B (文法) I1101 Italian IB				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 勝又 泰洋			
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火5		配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

入門用の教科書を用いて、イタリア語文法の基礎を学ぶ。アルファベットの学習から始め、名詞・形容詞・動詞のもっとも初歩的な知識をおさえることを目標にする。音声的側面(発音やアクセントなど)については、聴覚教材を活用しながら、訓練をおこなう。語彙も少しずつ確実に増やしていく。なお、本授業は、前期開講の「イタリア語IA(文法)」とセットである。

[到達目標]

発音とアクセントのルールを覚え、イタリア語の文を声に出して読むことができる。
名詞・形容詞の性・数変化の規則を理解し、文の中で正しく使うことができる。
動詞の人称変化の規則を理解し、文の中で正しく使うことができる。
基本的語彙を一定数覚え、文の中で正しく使うことができる。

[授業計画と内容]

- 第1回：前期「イタリア語IA(文法)」の復習
- 第2回：動詞(直説法近過去)(その一)
- 第3回：動詞(直説法近過去)(その二)
- 第4回：動詞(直説法半過去/直説法大過去)(その一)
- 第5回：動詞(直説法半過去/直説法大過去)(その二)
- 第6回：動詞(直説法未来/直説法先立未来)(その一)
- 第7回：動詞(直説法未来/直説法先立未来)(その二)
- 第8回：受動態
- 第9回：比較級・最上級
- 第10回：関係詞
- 第11回：ジェルンディオ
- 第12回：条件法(その一)
- 第13回：条件法(その二)
- 第14回：接続法
- [期末テスト]
- 第15回：期末テストのフィードバック

知識を定着させるため、適宜小テストも実施する

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

イタリア語 I B (文法) I1101(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点 = 教室での参加姿勢 (20%)、小テスト (20%)、期末テスト (60%) の合算で評価する。
なお、期末テスト実施回をのぞく15回のうち5回以上欠席した場合、もしくは期末テストを受けなかった場合、単位は与えられない。

[教科書]

杉本裕之 『基礎イタリア語講座 三訂版』 (朝日出版社 / 2022年) ISBN:9784255553184
第1回から用いるため、履修を決めている者はかならず持参すること。

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する
毎回、かならず辞書を持参すること。

[授業外学修 (予習・復習) 等]

予習は必要ない。毎回の宿題 (教科書の練習問題) にしっかり取り組むこと。小テストが控えているときには、復習もじゅうぶん行うこと。

[その他 (オフィスアワー等)]

諸連絡や質問は、授業の前後に受け付ける。

[主要授業科目 (学部・学科名)]